

令和2年度 自己評価結果公表シート

認定こども園佐竹台幼稚園

1 本園の教育目標

生きる力の基礎を培う
 ・自分が大好き・友だちも大好きな子どもを育む
 ・豊かな感性を育む
 ・基本的な生活習慣や態度を育てる

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標
 ちがうってすてき つながるってたのしい ～子供同士の関わりを深く見つめよう～
 ・昨年度より引き続き、それぞれのクラス(学年)の集団としての課題について話し合い、どの子供にも居場所があり、居心地がよいクラスとなるための、また、互いを認め合える関係となるための保育実践を積み上げる。
 ・3学年それぞれの子供達同士の関わりの様子や変化に焦点を当て、園内研修で互いの保育を見合い、研究協議をする。
 ・異年齢児学級保育で獲得してきた、「人とかかわる力」「人を思いやる気持ち」「身近な目標に向かっていく力」などをこども園でも持てるように工夫する。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ	B	コロナ禍の中でもできることを探りながら保育内容を工夫して、互いを認めあえる関係作りや居心地の良いクラス作りに取り組んだ。異年齢の活動も、直接触れ合うのではない形で、一緒に作業をしたり、心の交流をしたりして、思いやりや憧れの気持ちを持ったり、一緒にやり遂げたという達成感を感じたりすることができた。
健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身に着け、見通しを持って行動する	B	感染症などについて正しく理解する努力をし、必要以上に恐れることなく職員全員で協力して対策を行った。子供達ができるだけ安心して楽しい毎日過ごせるように、保護者とも連携して教育・保育活動を進めた。子供達は、自分の健康を守るための様々な方法を身に着けることができた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	今年度の初めは、得体のしれないコロナの脅威におびえながら2号認定児の保育を続けつつ、家庭保育が続く1号認定児とのつながりをいかにしていくか、登園が始まったらどのように過ごしていくのがいいか、何を大切にしていくのかなど、様々な情報を参考にしながら職員で知恵を出し合って共通理解のもと進めた。懸命に工夫する中で保護者の理解や協力も得られ、支えていただけた。この一年で、人とふれあうこと、つながることの大切さや一緒に過ごすこと、共感することがどんなに生きていく喜びにつながるかなど強く感じる事ができた。行事も縮小、地域や近隣の保育園・小学校・中学校との交流もほとんどできない状況だったが、大切なものをなくしてしまわないように今後も努力していきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援	配慮を必要とする子供が安心して楽しい園生活を送ることができ、先生や友達とかかわりあいながら共に成長していけるよう、保護者や他機関と連携し、職員間での共通理解のもと保育を進めていくようにする。
言語	子供同士が、場面に適切な言葉を使って互いの思いを伝えあえるように、丁寧に繰り返し言葉の使い方を伝える。気持ちや考えを言葉で伝え合う楽しさが味わえるよう手立てを考える。
職員の資質向上	こども園になり全員が同じ研修に参加するのは難しいが、職員研修の時間を作り出せるよう工夫し、各々が学んだことを自分から発信して伝達していくようにする。園内研修では、テーマを絞って活発に意見交流をしたり、外部講師より適切なアドバイスをいただいたりする。

※3, 4の評価結果の表示方法

「A十分達成されている」「B達成されている」

「C取り組まれているが、成果が十分ではない」「D取組みが不十分である」